

よる各グループの発表シートからまとめました

- 地域福祉計画範囲のイメージ
- 高齢・介護計画範囲のイメージ
- - - - - 障害者計画範囲のイメージ

情報	障害者(児)	子育て	その他
<p>自分の社会参加(ボランティア)のための情報が欲しい</p> <p>新しいIT機器などの使用方法が難しくわからない</p> <p>自分(親)がいなくなった後の子どもの自立方法についての情報が欲しい</p> <p>情報周知、PRの方法に工夫を</p> <p>要望に添えないようになってきている</p> <p>今回のような取組み(地域懇談会)を日常生活の中で知る機会が少ない</p>	<p>家にこもりがちの方を誘いたい</p> <p>近くに住む障害者をどのように助ければ良いか知りたい</p> <p>心の病を持つ人へ接し方を教えて欲しい</p> <p>障害者の市における雇用状況を知りたい</p> <p>障害者実態アンケートは、視覚障害者には設問量が不十分だったと思う</p> <p>一人暮らしの障害者に特化した情報が欲しい</p> <p>障害者自立支援法による応益負担に反対</p> <p>障害者自立支援法による応益負担に反対</p>	<p>母子家庭の生活の安定</p> <p>親子の接し方が上手くない</p> <p>少子化で将来が心配</p> <p>子育ては基本的には母親だと思つて専業主婦の税控除は必要</p> <p>女性の就労と子育ての不安</p> <p>親のしつけ、家庭の教育</p> <p>高齢者には手厚い福祉 子ども施策にも手厚く</p> <p>精神的に疲れている母親が多いようだ</p> <p>乳幼児を持つ母親の孤独</p> <p>0歳児を見かけない</p> <p>子どもの声が聞こえない</p> <p>(重度)障害児も児童保育や地域子ども館を利用できるようになると良い</p> <p>地域での教育、しつけ</p> <p>子どもの安全な遊び場を</p> <p>中学生の非行、中学生が集える場がない</p> <p>子どもの「育ち」の地域の協同プログラムを作りたい。きっかけは何か。</p> <p>子どもの虐待状況が見つけにくい</p> <p>子育て支援施設はよく利用されている</p> <p>高齢者と子どもの交流を</p> <p>子どもが大きくなると地域交流の機会が減る</p>	<p>福祉教育を、精神障害者に関する理解が広がり、誰もが安心して暮らせるまちづくりが大切</p> <p>協働の精神を發揮させるための市民にもっと自覚を持たせてはどうか</p> <p>市民同士の思いやりが足りない</p> <p>歩きタバコ禁止区域の拡大賛成</p> <p>飼い主のマナーが悪くペットの糞対策が必要。罰金制度を提案</p> <p>外国人が増えて不安を感じることもある</p> <p>精神病患者が全然治っていないのに退院させるのはいかがか。長期入院はある程度やむを得ないのでは</p> <p>自転車のマナーが悪い。講習会を</p> <p>集団時の歩き方が悪い</p> <p>夜中に対応してくれる医療機関が少ない</p> <p>地域福祉の中での行政と関連機関(公社、社協他)の役割分担がわかりにくい</p> <p>宅地開発されるなど地域環境が変わると人のつながりや地域のつながりが変わってしまう</p> <p>近所にどんな人が住んでいるのか、顔はわかっても暮らしまではわからない</p>
<p>マンションの管理が厳しくて地域情報が届けにくい</p> <p>地域の高齢者の情報が個人情報保護条例によって把握しにくくなった</p> <p>高齢者に地域情報を配布しているが住居表示がわかりにくい</p> <p>市の情報をできるだけ身近な場所において欲しい(駅、店、開業医など)</p>	<p>精神障害者で高齢者となった場合の行き場を地域に</p> <p>精神障害者の働く場を地域に</p> <p>仕事を选べる環境が欲しい</p> <p>うつ病者が助け合ってやっているける仕事場がほしい</p> <p>精神障害者のショートステイ施設確保</p> <p>独居している精神障害者や引きこもりの人が日中活動できる場所</p> <p>作業所やグループホームへの空き家の提供を</p> <p>精神科に長期入院して帰る場所のなくなった元市民に住居を提供して欲しい</p>	<p>子育て支援に本格的に取組みを</p> <p>土曜・夜間の保育園充実を</p>	<p>策定中の福祉総合計画の周知を。計画の内容が難しすぎる</p> <p>地域懇談会を開催しただけで「市民の声を聞いた」としてしまっている</p> <p>行政窓口の一本化を。行政の縦割りでは地域活動にはマイナス</p> <p>地域は「切れやすい若者」を抱えている。専門機関の支援と連携が必要</p> <p>教育・福祉・医療・就労等の各関係機関の連携</p>
<p>ケーブルTVに手話通訳を</p> <p>市報の紙面配置をもっと読みやすく</p> <p>情報のユニバーサル化を;乗り物やいろいろな場所に電光掲示板の設置など</p> <p>の安否確認方法・障害者への周知方法、</p> <p>それぞれの障害に合った市政情報提供が欲しい</p> <p>健康な独居高齢者の生活全般の相談窓口が欲しい</p>	<p>聴覚障害がある高齢者への支援を</p> <p>障害者の総合支援を(幼児期・学齢期・成人期等)</p> <p>孤独になりがちな障害者の把握が必要</p> <p>車椅子利用者が乗れるようなムースの設計を</p> <p>精神障害者にガイドヘルパー派遣、タクシー券配布を</p> <p>避難場所でのサポート内容の検討</p> <p>ピアカウンセラー、ジョブコーチ等の確保を</p> <p>難聴児学級の充実を/普通学級に通う聴覚障害児に対する教育支援を</p> <p>視覚障害者にとっては歩道の区別のための段差が必要</p> <p>障害者福祉センターを便利な場所へ</p> <p>ガイドヘルパー事業の推進、要約筆記者派遣事業の創設</p> <p>手話講習会、手話通訳派遣を現状のまま無料に</p> <p>三障害合同の就労機関の設置を</p> <p>市報に窓口ファックス番号の掲載を;聴覚障害者用</p> <p>介護保険に障害者施策を丸ごと入れないで欲しい</p> <p>介護保険に障害を含めるのは良いが福祉の全部上乗せは疑問</p> <p>障害者計画の目標値達成を</p>	<p>子育て支援に本格的に取組みを</p> <p>土曜・夜間の保育園充実を</p> <p>育休・産休を男女ともに取りやすいものに</p> <p>母子手当では子どもが家を出るまで継続して欲しい</p>	<p>策定中の福祉総合計画の周知を。計画の内容が難しすぎる</p> <p>地域懇談会を開催しただけで「市民の声を聞いた」としてしまっている</p> <p>行政窓口の一本化を。行政の縦割りでは地域活動にはマイナス</p> <p>地域は「切れやすい若者」を抱えている。専門機関の支援と連携が必要</p> <p>教育・福祉・医療・就労等の各関係機関の連携</p>